

審議内容整理表

審議部会

第1回

事業名		川内沢ダム建設事業		
		委員の質問・意見等	県の回答	対応項
①	越村委員	<ul style="list-style-type: none"> 調書の参考資料4の氾濫区域被害額の数字は、事業説明資料P10に記載しているシミュレーションに基づいて、ダムあり・なしの被害額を算定しているか？ 事業説明資料P10を確認すると、上流部の浸水深は減っており、下流部の浸水深は多少減っているが、浸水範囲はほとんど変化がない。 ダム建設事業効果の是非について、教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 被害低減額について分かりやすくなるよう、説明資料を追加・修正する。 	P10～11: 浸水面積、浸水深等低減の効果説明資料追加
	吉田委員	<ul style="list-style-type: none"> ダム整備前後の効果における差分を取っていただけると分かりやすくなる。 		
②	庄子委員	<ul style="list-style-type: none"> 事業説明資料P16に記載しているデフレーター推移グラフにおいて、デフレーターが減少傾向にあるが、事業期間が延びることにより、将来の便益額も減少していく相対性などを踏まえ、工事期間の設定理由について、説明していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明資料に追記する。 	P12: 残事業費、残工期、資産の不確実性を考慮した「感度分析」について、説明を追加
③	西出委員	<ul style="list-style-type: none"> 前回評価からの5年間に於いて、便益が大幅に増加している理由について、理解できる資料を作成していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 便益の差について分かりやすくなるよう、説明資料を追加・修正する。 	P14: 治水便益の変動について資料追加
	庄子委員	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルの変更により便益の算出方法が変更したのであれば、以前の算出方法で算出した便益を参考に併記してもよろしいと思われる。 		
④	吉田委員	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画図において、保全区域の人口は市街化区域であり、今回の事業が市街地の浸水に対して効果があることを追記していただきたい。 人口の安定的な推移を見込むことを追記していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明資料に追記する。 人口の推移については、記載内容を検討する。 	P15: 氾濫区域内の状況に都市計画区域図、推計人口の説明を追加
審議結果	事業継続とした県案について		附帯意見等	
	<ul style="list-style-type: none"> 継続妥当 		<ul style="list-style-type: none"> コスト縮減 事業全体の効果の早期発現 	